

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年06月15日

計画の名称	大間町における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大間町												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	451	A	451	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H29末	H31末
1	下水道処理人口普及率を54.5%(H27)から55.1%(H31)に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	54%	54%	55%
	下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大間町	直接	大間町	管渠(汚水)	新設	大間1号幹線枝線整備 A1 -1-1	汚水管 150mm L=2,427m	大間町						364	-	
	A07-002	下水道	一般	大間町	直接	大間町	管渠(汚水)	-	調査・設計等 A1-1-2	汚水管 150mm L=2,706m等	大間町							87	-
		「種別2:全種」																	
												小計						451	
											合計						451		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大間町生活整備課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行った。	令和2年6月
	公表の方法 大間町ホームページにおいて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成27年度から平成31年度までの5年間で6.7haの整備を行い、下水道処理人口普及率が54.5%から55.1%へ上昇した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画の最終目標は達成したが、残りの未整備地区についても計画的に下水道整備を推進し、下水道処理人口普及率を向上させることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現できる環境を創造していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	
	最終 目標値	55%
	最終 実績値	55%